

施策項目 5 情報教育の充実

【評価結果】

【担当課:ICT教育推進課(高校教育課、義務教育課、特別支援教育課、生徒指導・学校安全課、教職員育成課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
------	------

定量評価 [指標]	C	指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
		評価数	1	0	1	1	
		d評価となった指標			②		

定性評価 [施策]	進展あり
<p>国のGIGAスクール構想により、各学校におけるICT環境整備が進み、ICTの日常的な活用が図られている学校が増え、全国平均よりも活用が進むなどの成果が見られたほか、ICTを生かした各教科等での学びを深める活用やICTを活用した授業改善の取組が一層進められるなど、施策の進展が見られる。</p>	

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)教育の情報化の推進 ・急速な情報化の進展に伴い、GIGAスクール構想の実現等に向けた取組や校務の情報化などの推進が必要</p> <p>(2)情報活用能力の育成 ・急速な情報化の進展に伴い、児童生徒の情報活用能力を各学校段階を通じて体系的に育む必要</p> <p>(3)ICTを活用した「分かる授業づくり」の実施 ・授業で積極的にICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業スタイルを確立する必要</p> <p>(4)ICTを活用した遠隔授業、遠隔研修の推進 ・遠隔授業や遠隔研修等の遠隔教育の取組の成果と課題を整理し、遠隔教育を一層充実する必要</p>
---------	---

(1)教育の情報化の推進	<p>①GIGAスクール構想の実現等に向けたICT環境整備等の取組の推進及び市町村への支援 ②道立高校の1人1台端末環境整備に向けた支援 ③北海道公立学校校務支援システムの市町村への普及及び利用促進、道立学校での運用支援</p>	<p>①・ICT活用サポートデスク及びICT活用ポータルサイトによる学校・市町村教委への支援(問合せ492件、ページ更新50回、アクセス数23,892件) ・道立学校におけるクラウドサービスアカウント等の管理・運用の支援 ・学習指導員や教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)等を対象としたICT活用研修を実施(6月7日、280名参加) ・北海道教育情報通信ネットワーク(スクールネット)の更新に伴う環境整備の充実(3月～) ②・生徒、保護者向けパンフレットの更新・配布 ・GIGAスクール運営支援センター整備事業においてヘルプデスク「GIGAトラブル相談センター」の設置による学校ICT環境支援の充実(問合せ1,842件) ・道立学校情報セキュリティアドバイザーによる支援(9、10月、23校) ③・北海道公立学校校務支援システム導入に係る市町村を対象とした説明等を実施(照会の都度、情報提供等) ・道立学校での新校務支援システムの運用開始に伴うヘルプデスク設置・FAQ整備の支援</p>	[D]
[P]	<p>①・ICT活用サポートデスクやポータルサイトの充実により学校・市町村教委のニーズに応じた支援 ・引き続き、ICT活用サポートデスク等による相談対応などの支援 ・学習指導員や教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)等との連携の充実</p> <p>②ICT環境の管理・運用に関する、サポートデスクや「GIGAトラブル相談センター」等による相談対応などの支援の充実 ③引き続き、校務支援システムのポータルサイト開設による操作方法支援や利用促進を充実</p>	<p>①・学校や地域によりICT環境や活用の状況が異なることから、ニーズに応じた支援が必要 ・道立学校のネットワーク更新に伴うクラウド等の管理・運用方法の変更に対する支援が必要 ・学校のICT活用に向けて、学習指導員等の教員以外の職員との一層の連携が必要 ②・「GIGAトラブル相談センター」等による相談対応などの支援の充実が必要 ③・北海道公立学校校務支援システムの導入市町村増(前年度比10市町村増(+5.5ポイント)) ・道立学校の新校務支援システムは、昨年度と操作方法が異なるためヘルプデスクへの照会件数が増(前年度比約4.8倍(+7,387件))</p>	[C]

(2)情報活用能力の育成	<p>①「ICT活用授業指針」の普及 ②小・中・高・特別支援学校における情報活用能力の育成に向けた教員の指導力向上のための取組の実施 ③高等学校における教科「情報」に関する学習活動の充実に向けた教員の指導力向上の取組の実施 ④特別支援学校における小・中学校等に準じた取組及び障がいの状態等に応じた活用の充実に向けた取組の実施 ⑤ネットトラブル未然防止のため、関係機関と連携し作成した啓発資料を、児童生徒、保護者・教員等に対し配付し普及</p>	<p>①・ICT活用ポータルサイトにより、実践する学校に資料等を提供(ページ更新50回、アクセス数23,892件) ・道教委指導主事等が小・中学校教育課程編成の手引等を活用し、全ての公立小・中学校で指導助言や情報提供を実施 ②・「学びのDX事業」を実施し、市町村教育委員会や学校等からの依頼に応じてICTに関する研修の支援や相談会を開催(41回) ・各教育局の指導主事及び教員を対象とした指導者養成研修を実施(5月25日、323名参加) ・オンデマンド研修資料及び校内研修プログラムを作成・周知(20コンテンツ) ・ICT活用サポートデスクにより、ICT活用に関する電話相談等に対応(492件) ・道立教育研究所「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けたICTの効果的な活用」(小・中・高)(オンデマンド5月16日～6月6日、遠隔6月8日、10月4日、20名参加)、「情報科教員の実践的指導力向上研修【情報】」(高)(オンデマンド5月9日～20日、遠隔6月2日、3日、16日、23日、9月8日7名参加)、基本研修(初任段階教員研修等)においてICT活用の研修を実施 ③授業改善セミナーにおいて、高等学校共通教科情報科における情報デザインの研修を実施(10月14日、21日、11月2日、16日、年4回、45名参加) ④道立特別支援教育センターにおけるICT活用研修講座の実施(10月19日、69名参加) ⑤・「GIGAワールド通信」等で情報モラル等に関する情報を掲載(4、6、12月、3回) ・ネットトラブル未然防止啓発資料をWebページに掲載するほか、児童生徒向け資料については、学校及び教育局に配付し、「ネットパトロール講習会」及び保護者向け学習会等において活用</p>	[D]
[P]	<p>①・ICT活用ポータルサイトによる小中高の12年間を見通した情報活用能力の育成に関する情報提供と活用支援 ・小・中学校教育課程改善の手引等において、ICTを活用した授業改善について掲載するとともに、公立小・中学校各教科等担当指導主事研究協議会において共通理解を図り、全道で統一した指導助言を実施 ②・教員のICT活用指導力の向上を図るため、研修会や協議会を実施 ・オンデマンド研修及び校内研修プログラム等のコンテンツの充実と校内研修の推進 ・受講者同士が児童生徒の情報活用能力を高める具体的な教育実践について検討する協議・演習等の工夫・改善 ③授業改善セミナーにおいて、高等学校共通教科情報科における「モデル化とシミュレーション」の研修を実施 ④道立特別支援教育センターにおけるICT活用研修講座の実施・内容の充実 ⑤・「GIGAワールド通信」等で情報モラルに関する情報を掲載 ・関係機関と連携し作成したネットトラブル未然防止啓発資料をWebページに掲載 ・ネットの安全・安心な利用に向け、教職員、保護者を対象とした講習会を実施</p>	<p>①・小中高の12年間を見通した情報活用能力の育成が必要 ・学校訪問等において、小・中学校教育課程編成の手引等を活用した指導助言を行ってきたが、学校によってICTを活用した授業改善に差が見られることから、段階を踏まえた指導助言が必要 ②・教員によりICT活用指導力の状況が異なるためニーズに応じた支援が必要 ・道立教育研究所が実施する専門研修や初任段階教員研修等の基本研修において、児童生徒の情報活用力の在り方や効果的な指導に係る講座を設定、学校での教育活動に直接生かすことができる実践的な内容の充実が必要 ③高等学校共通教科情報科における、教員の指導力向上に向けて、ニーズに応じた研修が必要 ④多様な教育的ニーズに応じることができるよう、教員に求められる活用指導力やニーズに応じた研修機会の確保やポータルサイト等による情報提供等の支援が必要 ⑤・学校と家庭が連携し、子どもたちの「情報モラル」を育むことが必要 ・SNS利用に起因した児童生徒の性被害などネットトラブルにおける課題に対応するため、引き続き、教職員や保護者を対象とした講習会が必要</p>	[C]